

1980年1月1日から2020年11月30日までに、当院における病理組織診断にて成熟T/NK細胞リンパ腫(未分化大細胞型リンパ腫を含む)もしくはホジキンリンパ腫と診断された方へ

研究課題名

「成熟T/NK細胞リンパ腫におけるゲノム異常とその臨床病理学的な意義に関する後方視的研究」へご協力をお願い

1. 研究の概要

1) 研究の目的・方法

成熟T/NK細胞リンパ腫はアジアに多いリンパ腫であり、細胞傷害性分子が陽性となる症例は予後不良であることが知られています。しかし有効な治療法は確立されておらず、その詳細な臨床病理学的特徴の抽出とともに免疫環境との相互作用を含めた分子病態の解明が望まれています。PDL1の発現解析、免疫微小環境関連mRNA発現プロファイル解析により免疫環境を、次世代シーケンサー(NGS)によるwhole-exome sequence (WES)、whole-genome sequenceなどにより、変異の集中しているシグナル伝達経路が明らかになれば、分子病態の解明のみならず、将来的に新規治療法の開発につながるものと期待されます。また、成熟T/NK細胞リンパ腫はホジキンリンパ腫の一部との鑑別が難しいことがあり、その両者についても比較解析することで診断に有用な知見が得られることが期待されます。

2) 研究期間

当院では臨床研究審査委員会承認後から西暦2025年12月31日までこの研究の科学的妥当性と倫理性は、当センターの臨床研究審査委員会において厳重に審査され、承認されています。

3) 研究の対象となる方

1980年1月1日から2020年11月30日までに、当院における病理組織診断にて成熟T/NK細胞リンパ腫(未分化大細胞型リンパ腫を含む)もしくはホジキンリンパ腫と診断され、残余検体ある方。

4) 研究の方法

研究への参加に同意いただいた場合、診療目的で過去に生検ないし摘出された組織のうち診療に用いられた以外の余剰分の試料を主たる研究機関である愛知県がんセンターに送ります。それを用いて、病理組織学的な検討や、がん関連遺伝子の異常などについて次世代シーケンサーを用いた全エクソームシーケンス、全ゲノムシーケンスなどにより解析を行います。また、性別、年齢、病変の部位、治療内容、治療に対する反応性と結果等の臨床情報についても、診療情報から抽出して提供します。これらの試料・情報は、後述のように、あなたであることがわからないように処理(匿名化)された状態で送られます。

2. 病院名及び研究責任者の氏名・問い合わせ先

【実施医療機関の研究責任者の連絡先・問い合わせ先】

国立病院機構岡山医療センター

〒701-1192

岡山市北区田益1711-1

電話 086-294-9911

研究責任者:臨床検査科 科長 神農 陽子

研究分担者:臨床検査科 医師 永喜多 敬奈

【研究代表者・問い合わせ先】

愛知県がんセンター病院

〒464-8681 愛知県名古屋市千種区鹿子殿 1 番 1 号

電話 052-762-6111

研究責任者:遺伝子病理診断部 加藤 省一

【研究参加施設】

名古屋大学大学院医学系研究科・臓器病態診断学・名誉教授・中村栄男

名古屋大学医学部附属病院・病理部・病院助教・鈴木優香

名古屋大学医学部附属病院・先端医療・臨床研究支援センター・特任講師・奥野友介

愛知医科大学病院・病理診断科・教授・都築豊徳

愛知医科大学病院・病理診断科・准教授・高橋恵美子

愛知医科大学病院・病理診断科・助教・佐藤啓

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科・腫瘍病理/第二病理・教授・吉野正

金沢医科大学・血液免疫制御学・教授・正木康史

金沢医科大学・臨床病理学・准教授・黒瀬望

久留米大学医学部・病理学講座・教授・大島孝一

久留米大学医学部・病理学講座・准教授・三好寛明

藤田医科大学医学部・血液内科・教授・岡本昌隆

藤田医科大学医学部・血液内科・教授・富田章裕

藤田医科大学医学部・血液内科・講師・入山智沙子

藤田医科大学医学部・血液内科・講師・岡本晃直

長野県立須坂病院 遺伝子検査科・浅野直子

名古屋市立大学大学院医学系研究科・血液・腫瘍内科学・教授・飯田真介

京都府立医科大学 血液・腫瘍内科学・教授・黒田純也

信州大学医学部・病態解析診断学講座・准教授・上原剛

福井大学医学部附属病院・病理部・准教授・今村好章

福井大学医学部附属病院・血液腫瘍内科・助教・田居克規

三重大学・血液・腫瘍内科学・講師・山口素子

名古屋医療センター・血液・腫瘍研究部長・永井 宏和
浜松医療センター 病理診断科・部長・森弘樹
聖隷浜松病院 病理診断科・部長・大月寛郎
厚生連高岡病院・血液内科・経田克則
厚生連高岡病院・病理科・増田信二
安城更生病院・血液内科・澤正史
兵庫県立がんセンター・血液内科・村山徹
兵庫県立がんセンター・病理診断科・梶本和義
りんくう総合医療センター・血液内科・烏野 隆博
りんくう総合医療センター・病理診断科・今北正美
岡崎市民病院 病理診断科・部長・小沢広明
岡崎市民病院 血液内科・部長・市橋卓司
公立陶生病院・血液内科・部長・梶口智弘
公立陶生病院・病理部・部長・北村 淳子
聖隷三方原病院・血液内科・奈良 健司
聖隷三方原病院・病理診断科・小川博
大分県立病院・血液内科・佐分利能生
中部労災病院・病理診断科・長坂暢
豊田厚生病院・病理・成田道彦
名古屋掖済会病院・血液内科・小島由美
名古屋掖済会病院・病理診断科・佐藤朋子
JCHO 中京病院 血液内科・津下圭太
JCHO 中京病院 臨床病理科・服部 行紀
大垣市民病院 血液内科・小杉浩史
大垣市民病院 病理科・岩田洋介
松波総合病院・病理診断科・池田庸子
いわき市医療センター・病理診断センター長・浅野重之
刈谷豊田総合病院・病理診断科・伊藤誠
名古屋第二赤十字病院・病理診断科・橋本光義
石川県立中央病院・病理診断科・湊宏
福井赤十字病院・内科・神谷健一
亀田総合病院・血液・腫瘍内科・末永孝生
江南厚生病院・病理診断科・福山隆一
神戸市立中央市民病院・病理診断科・山下大祐
豊橋市民病院・血液・腫瘍内科・倉橋信悟
豊橋市民病院・病理診断科・前多松喜
近江八幡市立総合医療センター・病理診断科・細川洋平
春日井市民病院・病理部・吉田めぐみ
磐田市立総合病院・病理診断科・谷岡書彦
半田市立半田病院・病理診断科・長浜 真人

小牧市民病院・病理診断科・桑原恭子
京都第二赤十字病院・病理診断科・桂奏
北野病院・病理診断科・弓場吉哲
中東遠総合医療センター・病理診断科・鈴木大介
名古屋医療センター・病理診断科・岩越朱里
一宮市立市民病院・病理診断科・中島広聖
名古屋大学医学部附属病院・病理部・島田聡子
名古屋大学医学部附属病院・病理部・榊原綾子
名古屋大学医学部附属病院・病理部・露木悠太
名古屋大学医学部附属病院・病理部・小澤享弘
名古屋大学大学院医学系研究科 血液・腫瘍内科学・講師・島田和之
岡山大学医学部保健学科病態検査学講座・教授・佐藤 康晴
岡山大学大学院保健学研究科 病態情報科学領域・助教・祇園由佳
大垣市民病院 血液内科・高木雄介
大阪市立総合医療センター 病理部・病理診断科・井上健
岡山医療センター 病理診断科・神農陽子

3. 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨並びにその入手・閲覧の方法

この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧になりたい場合や、研究終了後に研究結果をお知りになりたい場合は担当医にお尋ね下さい。他の参加患者さんの個人情報等の保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲内で対応させていただきます。

4. 個人情報の開示について研究対象者及びその関係者からの相談等への対応に関する情報

あなたの生体試料や情報・データは、個人情報(氏名・住所・生年月日など)を削除し、代わりに新しく符号をつけ、誰のものかわからないようにした上で(匿名化)、愛知県がんセンターに提供されます。あなたの協力によって得られた研究の成果は学会や学術雑誌およびデータベース上で公に発表されます。しかし、あなたや家族など個人が特定されることはありません。また、がん関連遺伝子の解析で得られた結果について、研究者が利用する公的データベースに登録することがあります。その場合でも、完全に匿名化した上で登録を行いますので、誰の遺伝子情報であるかは利用者にはわかりません。

本研究は、がん検体におけるがん関連遺伝子の異常などを解析の対象としていますので、子孫に遺伝する可能性がある遺伝情報の解析は目的としていません。ただし、がん関連遺伝子などについての解析に伴い、がんになりやすい遺伝子、子孫に遺伝する可能性がある異常をもっていることがわかる可能性は否定できません。しかし、本研究は、多人数の患者さん由来のがんに関連する遺伝子の情報を相互に比較することにより、それらの遺伝子の機能を明らかにしようとする研究のため、解析の結果得られた情報が個々の患者さんの健康状態等を評価するための情報としての精度や確実性が担保されているものではありません。そのため、原則として患者さん本人やその家族に解析結果は開示しません。

この研究の関することについて、わからないことや、聞きたいこと、また何か心配なことがありましたら、いつでも遠慮なく研究担当医師におたずねください。

4. 試料・情報の利用を拒否できる旨

この研究への参加をお断りになっても、不利益を受けることはありません。その場合は担当医にお申し出ください。